

家庭

項目	観点	教科書名	NEW技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する（６・教図）	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生（９・開隆堂）
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成するため、どのような配慮がされているか。	<知識・技能の習得> ・育成すべき資質・能力が各節の冒頭に「目標」として明記され、指導と評価が一体化している。 ・題材ごとの「キーワード」が示され、知識・技能の定着のポイントを押さえている。 ・「いつも確かめよう」のページで衣と食に関する基礎的・基本的技能をまとめて示している。また、幅広い難易度の題材を設定することで、生活の中で活かせる配慮がある。 ・失敗例の掲載から、正しい方法を確認できる。 ・巻末に各分野のデジタルコンテンツが一覧になっており、動画や関係HPを活用できる。 <思考力・判断力・表現力等の育成> ・生活をよりよくしていくための資料や実習事例（写真やイラスト）が多数記載され、既習事項を振り返りながら発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。 ・実習例では、工夫例や自己評価の観点が具体化されており、思考力を高めたり、達成度を確認したりできる。 <学びに向かう力・人間性等> ・「生活の課題と実践」では、課題解決学習の手順や参考例が詳細に示され、既習事項を生活の中で実践できる具体例があり、活用しやすい。 <その他> ・関連分野の他教科の教科書資料も直接見ることができ、カリキュラムマネジメントに生かせるようになっている。	<知識・技能の習得> ・基礎的・基本的技能が習得できる題材や問題解決的な題材を取り入れることで、生活を工夫できるような配慮がある。 ・QRコードが示され、動画資料とリンクしているので、基礎技能の習得時に生かせる。 ・「めあて」や「キーワード」を明示し、知識・技能の定着ポイントを押さえている。 <思考力・判断力・表現力等の育成> ・写真や資料が充実しており、調べ学習等に活用しやすい。 ・各章の「学習のふり返り」では、３つの観点到に沿った問題が提示されており、自己評価につなげやすい。 ・各題材ごとに、振り返りの自己評価と記述式の「私の学び」の欄を設け、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。 ・各題材の「やってみよう」「考えてみよう」といった課題では、例が多く示されており、解決の糸口が見つけやすい。 <学びに向かう力・人間性等> ・「生活の課題と実践」の中に生活をよりよくするための具体例を取り上げることにより、主体的に考え行動できるように配慮されている。	<知識・技能の習得> ・小学校での学びも含め、基礎から応用へと発展する内容で構成されている。 ・実習のめあてを明確にし、手順を押さえて実践できる題材を設定することで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活を工夫できるよう配慮されている。 ・学習内容に即した実践や実験が、該当するページそれぞれにQRコードによってリンクされたコンテンツによって示されており、その場で確認しやすく、家庭で実践する際にも基礎技能を確認するのに活用しやすい。 <思考力・判断力・表現力等の育成> ・学習のまとめを３観点から行うことができる工夫がある。さらに見方・考え方を働かせたり、自分の言葉で記入したりするなど言語活動を充実させたまとめ方をしている。 <学びに向かう力・人間性等> ・各分野のまとめとして、既習事項を振り返り、学校生活や家庭生活とつなげられるよう投げかけ、具体的な課題と実践に活かせるよう配慮されている。 <その他> ・人体の図を使って栄養素の働きを示したり、だし汁のとりかたでは風味について具体的に触れたりするなど、何のために学ぶのか理解して学習できるような工夫がされている。 ・調理実習の実習例においては、使う用具やアレルギー食品についても分かりやすく提示されており、家庭での実践で応用しやすい工夫がなされている。 ・他教科とのリンクについて各分野の該当ページに示されており、カリキュラムマネジメントに生かせるようになっている。
2 内容の程度及び取扱いについて	○生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを実現するためにどのような工夫が見られるか。	<生活の営みに係る見方・考え方> ・目標が具体的に表記され、生徒自ら課題を知り、主体的に考えることができる。 ・各内容の終末は、SDGsを目指す学習で統一され、主体的・対話的で深い学びに取り組める工夫が見られる。 ・「プロに聞く」という項目で各専門家の意見を取り入れ、キャリア教育にも関連させている。 <主体的・対話的で深い学び> ・「生活の課題と実践」が巻末に集約され、各内容ごとに豊富な実践例が示され、自らの課題と実践に繋げやすくなっている。 ・各内容のまとめで「振り返ろう」「確かめよう」「生活に生かそう」に分かれ、主体的に学習の振り返りができる工夫が見られる。	<生活の営みに係る見方・考え方> ・写真を多く掲載し、生活の営みに係る見方・考え方がイメージしやすい。 ・学習前に自立度チェックがあり、導入の工夫がある。 <主体的・対話的で深い学び> ・「生活の課題と実践」では、段階を踏んだ解決法や参考例を提示し、課題解決への糸口を見出している。 ・各分野において、実生活と関連させた具体的な問いかけや話し合いの場面を多く設け、主体的、対話的に学ぶことができるよう配慮されている。 ・題材ごとに、「学びを生かそう」のページがあり、主体的に学習に取り組むことができる。	<生活の営みに係る見方・考え方> ・題材ごとに、学習の目標が明確に記されていることで、生徒自ら目標に向かい学習することができる。 ・SDGsについて大きく取り上げ、全ての分野で具体的に示し関連付けることで、各課題について考えを深められるよう工夫されている。 ・「先輩からのエール」では、Q&A形式を取り入れ、メッセージ性を強く出すなどキャリア教育との関連が深い。 <主体的・対話的で深い学び> ・「生活の課題と実践」では、より具体的な進め方と内容が記載されており、主体的に課題設定や課題解決ができる工夫がされている。 ・目的に応じた参考例や応用例を多く示し、製作や実習等が主体的に進められるような工夫が見られる。
3 配列・分量	○題材の構成や教材の配列にはどのような特徴があるか。	指導計画に合わせている B 衣食住の生活 C 消費生活・環境 A 家族・家庭生活 ※A・B・C・を１・２・３・４・５編と表記 最後に「生活の課題と実践」の順で配列 ・291ページ構成 AB版 ・題材の最初のページに学習内容がまとめられている。 ・食生活…実習例と参考例に分かれている。 ・<生活に生かそう> 「～しましょう。」という簡単な活動例 ・巻末に[防災・減災手帳] 切り離し資料付 ・持続可能な社会の構築に向けて 終末章の中で取り上げている。 消費生活…SDGsの紹介のみ	学習指導要領に合わせている A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境 各内容の最後に「生活の課題と実践」が配列 ・295ページ構成 AB版より縦が長く横幅が狭い変形AB版 ・資料が豊富、色彩が濃い ・題材名が極太でわかりやすい ・<学びを生かそう> 「～の学習を生かして自分の課題に取り組もう。」という投げかけ ・持続可能な社会の構築に向けて C消費生活・環境 の冒頭ページで記載 他の内容では記載なし	学習指導要領に合わせている A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境 最後に「生活の課題と実践」の順で配列 ・299ページ構成 AB版 ・食生活…実習例のみ 蒸し調理は実習例として１ページ分記載 ・LGBTの記載（他社なし） ・<生活にいかそう>題材のまとめりと実生活へ向けた課題を提示 ・[災害から「いのちと生活」を守るために]の資料添付 ・持続可能な社会の構築に向けて 各内容でSDGsを位置づけ （内容Bでは衣・食・住で位置づけ） １つの項目として取り上げている。
4 表記・体裁	○誰もが見やすく、使いやすくするため、どのような工夫が見られるか。	・文字はユニバーサルデザインフォント ・表紙、本文とも全ての色覚特性に配慮した色を使用 ・軽量な用紙を使用することにより、身体的負担を軽減 ・多様な生徒への対応として、教育漢字以外の漢字にはふり仮名あり ・使用されているマークの種類が多い ・押さえたい語句は太ゴシックで目立つように表記 ・必要な情報と関連する情報が一緒に掲載されている場面が多い ・実習例は左から右に流れる横の流れの表記で統一 ・<小学校・他教科>をキーワードとして表記	・文字はユニバーサルデザインフォント、従来より10%拡大 ・本文が短く、簡潔な文章表記 ・押さえたい語句は太ゴシックの青文字で表記 ・写真やイラスト、図表などを多用し、１ページに記載された資料が多い ・製作や実習の手順は縦に配置し、ポイントや失敗例を挙げて考えさせる構成	・文字はユニバーサルデザインフォント ・カラーユニバーサルの視点から、誰もが見やすい色とデザインを使用 ・軽量化した用紙を使用することにより身体的負担を軽減、３社の中では１番薄く軽い ・押さえたい語句は太ゴシックで目立つように表記 ・見開きを活用した実物大写真や資料の配置等が工夫され、見やすい紙面構成 ・実習や製作の手順は、左から右への横の流れの表記で統一（パターン化） ・<小学校での学び>を具体的に表記